

## 部 会 議 事 録 (まち協全体会資料)

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和5年度 第8回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2023年(令和5年) 11月16日(木) 午後3時から午後5時35分まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	<p>委 員：12人(総数21人)</p> <p>出席者：畠山会長、澁谷副会長、甲斐副会長、徳江委員、飯森委員、吉見委員、藤原委員、小原委員、岩田委員、山口委員、近藤委員、保川委員</p> <p>欠席者：三觜副会長、甘粕副会長、甘粕委員、阪井委員、渡辺委員、依藤委員、岡田委員、福島委員、桐生委員</p> <p>市都市計画課：堀田、柏木、與安、赤坂</p> <p>事務局：幸田センター長、森井主幹、笠原、関口、下間、國松、吉岡</p>
都市マスタープランの改定に伴う意見交換(別紙資料)	<p>[都市計画課]</p> <p>片瀬地区の土地利用構成割合の推移、道路の状況、公園・緑の状況について説明を行い、意見交換を実施。</p> <p>[1] 片瀬山地区内は大規模開発により道路幅も確保されているが、路線バス以外の大型車が通行できないのはなぜか。</p> <p>[都市計画課] 交通規制は神奈川県警察で行っているので詳細は不明。ご意見については、警察にも確認してみる。</p> <p>[2] 過去に子どもが片瀬中学校に通っていた時に片瀬中学校までバスが来ていた記憶がある。</p> <p>[3] 片瀬地区は人口減少とのことだが、新築の住宅が建築されたり、集合住宅が増えている印象を持っている。また、江ノ電江ノ島駅の目の前に14階建てのマンションが建つ予定である。片瀬のイメージは緑が多く空が広いイメージであるが、街全体としての景観保全などの考えがあれば伺いたい。</p> <p>[都市計画課] 子育て世帯の人口は増えているが、高齢者などの自然減も多い状況。また、緑に関しては、風致地区などの指定を行い、樹木の伐採の制限等、緑の保全を行っている。緑の保全などについて、皆様からのご意見を伺いながら緑や景観の保全を図っていくことが必要であると考えている。</p> <p>[都市計画課] すばな通りは商業地域となっており、風致地区などの制限がなく、また、建物についても高層の建物の建築が可能となっている。</p> <p>[4] 片瀬山公園について、災害時の広域避難場所となっている</p>

<p>都市マスタープランの改定に伴う意見交換 (別紙資料)</p>	<p>が、ベンチの数が少ないので、もっと増やした方が良い。また、高低差があることから4フロアに分かれているため、来る人が分かりづらい。電灯などに番号などを付番し、初めて来た人でもわかりやすくしたほうが良い。</p> <p>[都市計画課] 片瀬山公園のベンチは少ないと認識している。現在供用されている範囲は借地も含まれているため、暫定な供用となっている。災害発生時の広域避難場所になっているので、かまどベンチ等の設置等についてもご意見として受け、将来的に整備する際に担当課と共有したい。</p> <p>[5] 公園設置の基準について、すばな通り町内会の中で3つ公園があるが、いずれも狭かったり、斜面地のため、数だけでなく、人口の比率でみてほしい。また、すばなポンプ場のスペースの有効利用について伺いたい。</p> <p>[都市計画課] 公園は、市の計画に基づき整備されている公園の他に、マンション建設に合わせて整備され、管理を市に移管している公園がある。この場合は、マンションの開発面積に応じて面積を設定しているので、小さな公園もある。市の計画に基づく公園整備の基準は、緑の基本計画に基づき、1人当たり11㎡の公園を整備するという目標があり、少しずつだが整備している状況。また、ポンプ場の土地の有効活用については、担当課に確認していきたい。</p> <p>[6] 片瀬山は同じタイミングで開発されており、道路が整備されているが、片瀬山2丁目の道路密度が高い理由は何か。</p> <p>[都市計画課] 片瀬山の住宅地自体は整備済みとなっているが、街区自体が道路で確定されており、新たな道路ができるとは考えづらいため、確認したい。</p> <p>[7] 未整備となっている横浜藤沢線の進捗状況はどのようになっているのか。また、公園内にトイレを設置する基準を聞きたい。</p> <p>[都市計画課] 川名側の設計を進めているということは神奈川県から伺っている。市の担当課を経由して道路整備状況を確認したい。また、公園内にトイレを設置する基準は、市の基準で500mおきに整備を行う計画となっている近隣公園に位置づけている公園に設置していく。</p>
<p>報 告</p>	<p>3 報告(資料1)</p> <p>(1) 前回全体会の報告 議事録の確認</p> <p>(2) 各部会からの報告 配布資料のとおり。</p> <p>(3) 各地域団体からの報告 ア 生活環境協議会 ふれあいまつりで出品した花、バケツについてはいずれも完売した。また、11月19日に実施される一日清掃デーの周知。</p>

	<p>(4) 郷土づくり推進会議地区交流会について  11月10日に開催された地区交流会について報告。  今回は「地域活性化に向けた新たな取り組みについて(若者が積極的に参加できる仕組みづくり)」について、同じグループの六会、明治、善行と意見交換を行った。子育て世代、親子連れ、大学との協働など各地区の特性を生かした事業が展開されているが、片瀬地区と同様にお祭りなどの地域イベントを契機に、若い人たちが地域活動に参加してもらえよう取組んでいる。  先日実施したアンケート結果を抽出して報告。六会地区では、「坂のまち」をPRするため、缶バッジを作成し配布するなど地域の魅力を広める活動を行っている。他の地区では、まちづくり協議会の運営を行う人材は不足していない。御所見地区では、地域と中学生が連携し、中学生が中心となりイベントの運営を行うなど、若い人を取り込んでいる事例もあったとのこと。</p>
<p>議 題</p>	<p>4 議題(資料2)  (1) アンケートについて  (2) 地区集会の方向性について</p>
<p>議題での検討事項・意見</p> <p>議題での検討事項・意見</p>	<p>(1) アンケートについて  まちづくり協議会で実施したアンケート結果について、全体で151件となった。また、今後は、アンケートの結果の質問7・8・9を中心に、年代別の意見などを分析していきたい。なお、その他意見についても分析を行い、今後、フィードバックをしていきたい。</p> <p>[1] 地区集会の時に何を話し合うのかを決めたほうが良い。  [事務局] 世代ごとに考えていることを検証し、地域活動やまちづくり協議会の活動にフィードバックできるよう、検討をお願いしたい。</p> <p>[2] 今回のアンケート結果を基に、若い人と一緒に地域づくりするための方向性を地区集会で聞いたり、新たに繋がっていきたく思っている。</p> <p>[3] ボランティア活動は長時間拘束されてしまうと感じている人が多いのではないか。少しの時間でも良いので活動に参加できるよう、ハードルを下げるなどの工夫も今後必要となってくる。  [事務局] ボランティア活動の考え方も変わってきている。若い人が負担を感じない地域参加の方法について、結論は出さなくても良いので地区集会で意見交換し確認することが必要である。</p> <p>[4] 今までの地区集会に参加する人は50歳代から上の方がほとんどだった。若い人をどのように呼ぶかの議論をしたほうが良い。  [事務局] 今回の地区集会は、開始時刻を10時30分とし、50人位が集まればよいと考えている。内容は、第1部は任期満了になることから、2年間の活動報告。第2部をどのようにするか。また、前回の全体会において、地域の若い人に来てもらうために、色々な団体に声をかけては。との意見があったことから、団体への声のか</p>

	<p>け方などについて検討をお願いしたい。意見交換の実施方法として、昨年のグループトーク形式やフリートーク形式、委員が聞いて回る講義形式にするのか良いかなど、方針を決めたい。</p> <p>前回の全体会の意見として「みんなが参加したくなるまちづくり」という大きなテーマを掲げて、皆さんからの意見を聞くのか、小さなテーマを決め、話し合ってもらおうか。など検討していただきたい。</p> <p>[5] 若い世代を限定せず、誰でも参加できる地区集会にしてほしい。自治町内会の参加者も少ないので、自治連定例会で声をかけていきたい。</p> <p>[6] 子育て中の親の参加を促すため、地区集会の開催時間中に保育ボランティアを置くなど、気軽に参加できる環境づくりをしたほうが良い。</p> <p>[事務局] 保育ボランティアなどもあるため、相談してみたい。</p> <p>[7] アンケートの結果から、地域活動が土日にできる人、平日しかできない人、親子で参加したい人、子どもが学校に行っている時の時間を利用して活動したい人など、様々なニーズがある。また、責任が生じないイベントの手伝いであれば気軽に楽しく参加し、ボランティアをした感じになることを住民は望んでいのではないか。今回のアンケートを生かした地区集会にできればと思う。</p> <p>[8] 生活環境協議会で平日は仕事をしているので、土日の活動限定で行う役員もいる。地域団体の中でも柔軟に対応できるようにしたほうが良い。</p> <p>[9] アンケート結果の分析は、7番、8番、9番を中心に行っていきたい。地区集会への参加を声掛けする人は、核となる方を数人事前をお願いしてその人を中心に話が膨らめば良いと考えている。</p>
<p>6 その他</p>	<p>6 その他</p> <p>(1) その他</p> <p>① 4月の市長との意見交換会での質問について</p> <p>湘南白百合学園中学・高校に隣接する水路の水質検査の結果について報告。採取した水から界面活性剤の成分が検出されたが、微量のため直接人体への影響等はないとの結果となった。調査結果書の提供を希望するとのことだが、提供にあたっては担当課の了承が必要のため、後日回答することとなった。</p> <p>② 任期満了に伴う令和6年度委員公募について</p> <p>1月25日号広報ふじさわにおいて、郷土づくり推進会議委員公募の記事が掲載されることを周知した。</p> <p>③ ふれあいまつり報告</p> <p>模擬店の出店結果について。22人のボランティア協力をいただいた。また、おでんの具材を提供いただいた鶴生園に、売り上げの一部を寄付したい旨伝えたと、他の福祉施設へ寄付してほしいとの意向だったため、寄付先を事務局で検討しており、次回全体会で報告する。</p>

	<p>(2) 当面の日程</p> <p>郷土文化推進部会の日程が12月6日に変更となったことから、資料修正について依頼。他の部会は次第に記載のとおり。</p>
<p>次回までの 確認事項</p>	<p>地区集会の企画（案）の検討、アンケートの検証など</p>
<p>次回会議 開催日時・場所</p>	<p>全体会 日時 2023年12月21日（木）午後6時30分から 場所 片瀬市民センター ホール</p>